

「和僑会」広がる

離れて海外にビジネス・生活の拠点を移して活躍している日本人を、華僑をもじってそう呼ぶ。そんな和僑たちをネットワークして助け合おうとアジアなど各地に「和僑会」が誕生、来年五月に香港で世界大会を開くことになった。アジア起業家村を展開する川崎でも、海援隊21(牟田口雄彦代表幹事)を中心に「かわさき和僑会」(仮称)設立を目指している。

(春名 義弘)



香港で行われた「プレ世界和僑大会」ではクレドを参加者全員の拍手で表決した



海外で活躍する日本人たち

共存共栄めざし 川崎でも設立へ

アジアを中心に支部ができ総勢七百人以上に増えている。日本でも東京、大阪、福岡、長崎などで設立準備中という。

和僑会の動きの背景には、市場が成熟し、縮み志向の日本から、起業家精神を持つ若い人がどんどん香港など世界各地に出てくるようになったことがある。

「しかしそこは、生き馬の目を抜く弱肉強食の世に暮らすことになっている。牟田口代表幹事は、世界大会に向け、会員の設立を目指している。

来年、香港で世界大会

香港和僑会は少人数で始めた経営勉強会を母体にと、大会には香港和僑会(代表・筒井修太陽商事社長)を中心に日本からも合わせ約二百人が参加した。①相

「かわさき和僑会」の設立は、今年四月には、香港で世界大会を開くことになった。アジア起業家村を展開する川崎でも、海援隊21(牟田口雄彦代表幹事)を中心に「かわさき和僑会」(仮称)設立を目指している。

香港和僑会は少人数で始めた経営勉強会を母体にと、大会には香港和僑会(代表・筒井修太陽商事社長)を中心に日本からも合わせ約二百人が参加した。①相

「かわさき和僑会」の設立は、今年四月には、香港で世界大会を開くことになった。アジア起業家村を展開する川崎でも、海援隊21(牟田口雄彦代表幹事)を中心に「かわさき和僑会」(仮称)設立を目指している。